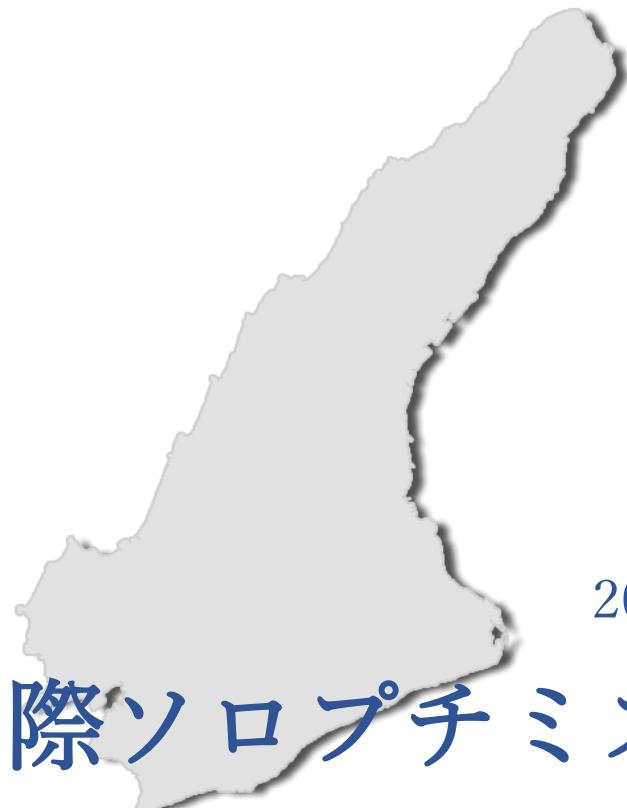


HOHOEMI

33



2024.9.— 2025.8.



国際ソロプチミスト淡路



「2024年度会長あいさつ」

谷村 雅美

2024年度第39期会長として1年間務めさせていただきました。

未熟な私ではございましたが、会員の皆さまのお力添えと温かいご支援により、無事に任を終えることができましたこと、心より感謝申し上げます。

昨年、特別委員会を立ち上げ会員数減少により経費の見直しが必要ではないかと、何度も話し合った結果、今期より事務所を解約し、新たな形での体制を整えました。

理事会や委員会の開催時、皆さまにはご不便をおかけしたことと思いますが、ご理解・ご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

奉仕活動としまして、チャリティゴルフコンペを昨年に引き続き、能登半島地震復興支援金として寄付を行うことができ、微力ながら支援の輪を広げる一助となれたことを嬉しく思います。



また、隔年開催されるユース・フォーラムではテーマ「未来に輝く女性の生き方」について、学生たちが堂々とスピーチする姿に圧倒されました。2年前、新たな試みで全国大会に出場した島内高校生に支援金贈呈を企画し、この度も引き続き開催することができ、今後も継続事業として取り組んで参ります。7月に最優秀賞者をユース・フォーラム2025in名古屋へ引率し、グループ毎にテーマに沿ってディスカッションし、未来のリーダーとなる女性像について意見を交わしました。学生たちの積極的な対応に見習わなければいけないと思ったのと、この子たちが議論する姿に、大きな希望と可能性を感じました。

この1年の経験を糧に今後も一会员として奉仕活動に真摯に取り組んでまいります。

来年度は認証40周年という大きな節目を迎える年でもあります。この歴史ある年にふさわしい活動が展開されることを願い、森敦子次期会長の下、さらに実りある一年となりますよう心から期待しております。



「第17回チャリティゴルフコンペ」2025/4/18

委員長 三原 潤子

葉桜の美しい洲本ゴルフ倶楽部にて第17回チャリティゴルフコンペを開催する事が出来ました。当日はお天気にも恵まれ、参加者の皆さんに気持ちよくプレーをして頂きました。

プレー後の表彰式は行わず、参加賞・賞品(全員)を各自受け取って頂き、その後のひとときには、お茶菓子とご歓談の時間をお楽しみ頂きました。

なお、皆様からお寄せいただいたご協賛金につきましては、昨年に引き続き「能登半島地震」への支援金として、兵庫県淡路県民局を通じて被災地へお届けいたしました。今回は個人・団体を問わず多くのご支援を賜り、チャリティ活動に対する意識の高まりを感じております。

委員会・会員の皆様のご協力・お添えのお陰で無事終えることができました。
感謝申し上げます。



「第 17 回ユース・フォーラム」2025/5/11

委員長 森 敦子

樺本 揚子

洲本市総合福祉会館において第 17 回国際ソロプチミスト淡路 島内女子高校生によるユース・フォーラムを開催した。認証 40 周年のイベントとして「淡路島から世界へ」と銘打って増田薰氏による講演を前段で行つたが、今まさに世界へ出ようとしている彼女の話は、高校生に大きな感銘を与えた。また、審査中の時間の津名高校のギター・マンドリン部の演奏も花を添えた。

ユース・フォーラムのタイトルは“未来の輝く女性の生き方”～いにしえの女性から学ぶ～。なかなか難しいタイトルであるが、各校代表の生徒たちは上手に自分の気持ちを発表し会場を沸かせた。川井淡路県民局長を審査委員長に 6 名の審査員の厳正なる審査の結果、最優秀賞に淡路三原高校 3 年の入谷友芽さんが選ばれ名古屋への切符を手にした。次につなげることも多くあったが、無事終えることができ、クラブの皆様に感謝です。

今回、増田薰氏を招き講演を行いました。

増田薰氏は洲本市出身の画家であり、日本とパリを拠点に活動されている方で様々な国を舞台に自分が持つ可能性が 0 になるまで芸術を探求する挑戦を続けています。講演後はスマートフォンの画面にイラストを描いていく手順等を披露して頂きました。

続いて、島内 6 校 6 名の高校生の皆さんのお見発表が行われました。さて、今回のテーマは「未来に輝く女性の生き方」～いにしえの女性から学ぶ～です。どの生徒さんの発表も素晴らしい、困難を乗り越えてきた偉人より学んだことや家族から学んだこと等を自分の将来のことへ繋げてしっかりと考えをまとめ堂々と発表されました。増田薰氏とのパネルディスカッションにおいても、それぞれの視点から発表され今後の成長が楽しみな生徒さん達でした。最後に無事終了でき何より良かったです。



「国際ソロプチミスト淡路賞 贈呈式」2025/5/11

委員長 山岡仁美子



S I 淡路の大きな事業の一つであるユースフォーラムが、5 月に洲本市総合福祉会館で開催され、プログラムの最終に奉仕プログラム委員会担当の贈呈式が執り行われました。

この賞は島内高校生の個人または団体で、日々切磋琢磨され、地区予選、県大会、近畿大会と勝ち進み、晴れて全国大会に出場されました高校生を表彰するプログラムで



す。今回は島内 5 校よりご推薦を頂き、選考委員会に於いて決定させて頂きました。

*兵庫県立洲本実業高等学校 洲実ユネスコクラブ 及び *兵庫県立津名高等学校 ギター・マンドリン部の 2 クラブでした。両部とも地域に根ざした素晴らしいクラブで、今後引き続きのご活躍を祈ってやみません。



「奉仕プログラム委員会」

委員長 山岡仁美子

会長を始め13名のクラブで一番大きな所帯ですが、委員会の皆様のご協力のもと、数々の事業もスムーズに終える事が出来ました。今年度は例年通りの事業、プラス隔年開催のユース・フォーラムの年で、「国際ソロップチミスト淡路賞」贈呈式も有り2団体を表彰出来ました。

毎年力を入れ開催しておりました「親と子のふれあい広場」は、コロナ禍の影響を受け昨年度より「親と子のふれあい俳句大会」に内容が変更され、今年度は第2回目の開催となり無事に終了。他にはガールスカウト兵庫県第2団への支援金、5団体へ賛助会費・年会費を贈呈。永年の奉仕活動の積み重ねが地域にも理解されてきた事を感じ担当委員長として感慨深き一年でした。



「親と子のふれあい俳句大会」 2025/3/23

委員 三根 香南

本俳句大会は嘗ての「親と子のふれあい広場」が時代の変遷とともに形を変えたもので、昨年に引き続き2回目となる今回は、南あわじ市永田青嵐の生家での開催。曾孫に当たる永田秀一氏の絶大なるご協力を得て、俳句の指導と選者は正井良徳氏、同じく選者に守本憲弘南あわじ市長をお迎えし、青嵐の遺徳を子どもたちに伝える俳句大会となった。

3月23日、まだ春浅い生家の座敷は子供たち、そして親御さんたちで座席は満杯となる中、青嵐の生涯をドラマ化したDVDが放映された。それを食い入るように見つめる子どもたちのまなざしは意欲に溢れ、その感受性は大人の想像を遥かに超えていて頼もしい。俳句作りを通して自然に親しむこの経験が深く心に刻まれたらこれ以上のこととは無い。目に見える結果だけが奉仕ではないとの思いを強くした一日であった。

俳句が子どもたちの未来に何らかの形で活かされるであろうことを願いつつ、来年、再来年と継続されることを願う。

「親と子のふれあい俳句大会」

委員 木下 壽子

3月23日は、天候にも恵まれ参加者、親子合わせて80名余りの楽しい俳句大会となりました。

受付の場所は、永田青嵐の生家の昔懐かしい通り門で致しました。

3月とは言え日差しが強く、吹く風が心地よく感じながら、前日に用意して頂いた、参加者の子供や家族に、出句用の用紙や参加賞を渡しました。

参加者が沢山来ていただき、嬉しく思っていましたが、後で委員長の話を聞き、人集めに大変ご苦労されたみたいで、本当にありがとうございました。

人集めが大変ですが、最後には、国際ソロップチミスト淡路の皆様の力のすごさに驚きます。

いつも、いつもお世話になり有難うございます。
感謝です。

「ガールスカウト兵庫県第2団 援助金贈呈」

副会長 三原 潤子

ガールスカウト兵庫県第2団・フライアップ式が3月23日(日)洲本市総合福祉社会館で行われ、森 敦子団長に支援金をお渡しました。

国際ソロプチミスト淡路からは、他の行事と重なった為、私一人の参加となりました。

10年前に参加させて頂いた時、「誓いの言葉」フライアップ式を拝見し、その時、孫を入れたいと思いました(ボーイスカウトですが今も続いています)

今回も感動しました。

先輩方のご指導も素晴らしい、自然や仲間とのふれあいの中、成長されるのを楽しみにしております。



「アワード委員会」

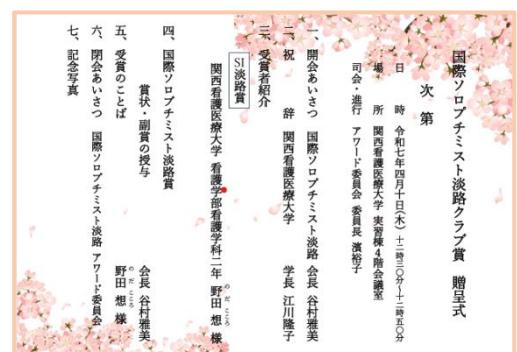
委員長 濱 裕子



関西看護医療大学の江川学長をはじめ、先生方の熱意のお陰で優秀な学生1名の応募を得ました。

残念ながらリジョン選外とはなりましたが、夢に向かって頑張っている学生に国際ソロプチミスト淡路賞を差し上げることができたことは、医療従事者を目指して頑張っている学生に大変有意義で良かったと確信しました。

今後も夢に向かって頑張っている学生を支援していくたいと思つております。



「国際親善と理解活動委員会」

委員長 高島 久美子

2024 年度 国際親善と理解活動委員長を拝命いたしましたが、申し訳ないことに活動という活動はほぼできていない状態でした。“国際”という名の示す通り、この委員会の活動目的は世界という枠組の中にあります。世界

「6th X' mas FunFun Concert～

蒼開中学校高等学校ジャズバンド部」2024/12/21

委員 泉 栄子

2024年12月21日（土）洲本市文化体育館文化ホールにて、蒼開中学校高等学校ジャズバンド部（SWJO）による「36thX' mas FunFun Concert」が開催されました。

1st Stage は、「White Christmas」から始まり、会場を一気にクリスマスマードに引き込みます。「A train Mambo」の軽快な曲に続き「S'wonderful」や「Fly me to the moon」などのバラードも素敵です。最後はお得意の「chili pepper got your tongue」で締めくくります。

2nd stage は、今回のステージで引退される高校2年生によるソロ演奏が見どころになります。一曲ずつ、自身がフィーチャーした曲を披露しました。各人のご努力の成果が花開いた見事な演奏でした。今回も楽しいコンサートをありがとうございました。

には今、日本を含めて 196 の国があります。以前の HOHO EMI を見ると「人と人との交流も復帰し・・・」とありますが、その世界の 196 の国とつながるためにも、まずは“何のために”というところから考えていかなければいけないのではないかと思いました。



「柳学園 S クラブ支援金贈呈式」2025/8/7

委員長 平岡 恵子

8月に入り猛暑が続く中、その日は少し涼しく感じられ、会長を含め五名で贈呈式に至りました。蒼開中学校秀進館に着き、もう朝早くから素敵な楽器の音が聞こえてきました。先生に丁寧にお出迎え頂き、ご紹介ご挨拶ののち、演奏が始まりました。私達の為にとても力強く、素晴らしい演奏を聴くことができとても感動しました。子供達の日々の練習の賜物だと感じることが出来ました。曲が終わり、先生方に見守られ、会長より生徒代表に贈呈されました。とても和やかな贈呈式になりました。この活動を通じて、少しでも子供達の夢の応援になればと思っております。



「財務・歳入委員会」

委員長 北平としみ

財務・歳入委員会委員会は、9月に修正収支予算書(案)を作成します。

カレンダー(案)作成し、各委員会提示予算・委員会費用・奉仕事業等をもとに作成していきます。

今期事務所の解約に伴い大きく変更となり委員会で時間をかけて話し合いました。

修正収支予算書を作成するにあたり、数字が細かく年齢的なこともあり非常に見えにくく、何度も数字を見直すのに時間がかかり苦戦しました。

又、歳入ではどうして資金を得るようとするか、委員



会で検討し、皆さんに喜んでいただけるには何が良いか話し合い、平川委員に大変お世話になり、新鮮な野菜を販売することが出来ました。会員の皆様のご協力で沢山の野菜が完売出来た事は委員会で喜びました。

恒例となっております、お酒販売・玉ねぎの販売で沢山の方々に喜ばれ届けて頂ける道筋を作つて頂いた、武田会員・平川会員に大変感謝しています。

お陰様で歳入益金も達成できましたことは、会員の皆様のご協力と感謝申し上げます。

「規約決議・SLTO 委員会」

委員長 片山 紀子



前期より引継ぎました、クラブ細則・クラブ手続き・財務規定の見直しと修正等を委員会で検討したところ、改めてクラブに諮るべき規約も数ヶ所ございました。しかし今期に改正

案の提出には及びませんでした。来期にはクラブで審議等を行い、最新のクラブ細則・クラブ手続・財務規定を作成したいと思います。

SOLTと致しましては、毎月一委員会にミニスピーチをお願いしました。

各委員会のミニスピーチを聞くことにより、更に委員会の役割の理解に繋がった事と思います。

「メンバーシップ・出席委員会」

委員長 小谷恵美子

S I 淡路 39才まっしぐらに駆けています。その中で、私はあたふたとパソコンとにらめっこ懸命の努力です。委員会の活動も支えられ一年を終える事が出来ました。



「ソロプチミスト日本財団委員会」

委員長 大継 淳子

財団はソロプチミスト精神に則り奉仕活動に対する援助や協力をすることにより、より豊かな生活の実現及び国際相互理解の促進に寄与することを目的としております。

当クラブも今期社会ボランティア賞とソロプチミスト



女性研究者賞へ応募いたしました。

応募した結果もですが、私達のクラブでの表彰式で他者の社会に向けての活動を通じて私達も学ぶ機会を大切したいと思っております。今後も応募の目的適った個人、団体を推薦出来たら思います。会員の皆様のご協力よろしくお願ひ致します。

「新旧理事会慰労と激励の会」

委員 小川 はるみ

淡路インターナショナルホテルザ・サンプラザにおいて兵庫県淡路県民局長川井史彦様をお迎えし「兵庫県の人口動態ほか…」と題したご講演をいただきました。淡路島3市の人口の流れやどのようにして人口を増やしていくか等資料を使って解説をいただきました。

地域の魅力を発信して人口を増やしていくのが淡路島にとっての課題であること等をお話頂きました。

その後「新旧理事会慰労と激励の会」を開催し、淡路県民局長川井様にもご参加頂き親しくお話しさせて頂きました。

した。ホテルザ・サンプラザ様のおもてなしと会員皆様のお陰で楽しいひとときを過ごすことができました。



国際ソロプチミスト淡路
兵庫県淡路県民局長川井史彦氏をお迎えして新旧理事会慰労と激励の会



「ファンダーガバナーデー」

委員長 大継 淳子

千嘉代子様は日本ソロプチミストの生みの親として、1980年ご逝去されるまでひたむきな奉仕の精神が原動力となり奉仕活動を献身的に活動されました。その威徳をお忍びして

お誕生日の10月6日をファンダーガバナーデーと定められています。

毎年10月の例会で千嘉代子様に献茶をし、お好きだった胡蝶蘭を遺影に飾り黙祷をささげるのを慣わしにしております。



京都宝ヶ池公園には「山々の松も埋もれて見えぬまで咲くや桜の花の白雲」と詠まれた千嘉代子様の歌碑が建立されております。

「新春懇親会」

正本 日登美

新春懇親会で2025年がスタート。今年は平川会員と司会をさせていただきました。楽しい会にしたいとの思いで、2人お洋服も揃え前日に打合せもしました。

美味しいお料理をいただきながら理事会のステキなダンス、奉仕プログラム活動分野委員会の「新春女流王座決定戦」、お習字「干支は何?」と楽しい余興が盛り沢山。歳入委員会からのお楽しみ袋は綺麗なお花。会員の笑顔が溢れる楽しい新春懇親会になりました。





「第39回リジョン大会」
濱 裕子

2025年4月22日（火）ウエスティン都ホテル京都で
あり、950名参加しました。

ホステスクラブは、国際ソロプチミスト大阪一東 増
田晴美会長、会員19名でまもなく認証35周年を迎えま
す。

今期ガバナーテーマ「繋ごう奉仕の輪」の先に「いのち
輝く未来社会」が実現できると確信いたしており、是非
大坂へも足をお運びくださいとおっしゃってました。

次回第40回は2026.5.11～12神戸ポートピアホテルで
開催されます。真摯なる友情を深め、奉仕の尊さを確認
できるも実り多い大会に多くの人の参加を祈念いたしま
す。



「2024年度分科会：規約決議・SOL委員会」
江川 隆子

2025年4月21日ホテルオークラ・暁雲の間で、参加
216名、林澄代（SI和歌山）委員長の元で開催された。
審議事項は、1) 提案事項の取り扱い、2) 審議の進め方、
3) 決議の仕方です。これらの議題は、非常に丁寧に事例
をもとに説明されました。そのために私も5月の例会で
これらの資料を配布して十分に説明することができま
した。また、総括の中で、SOLT-BOOKは、冊子として配
布はしないが、今まで通り使用できるように修正した個
所はお知らせすると、言われました。そして、本年度の訂
正箇所の対比表が配布されて、全員で確認しました。感
想として、「規約決議・SOLT委員会」の分科会は楽しい会
でした。



「SI神戸西チャリティバザー＆コンサートに

参加して」 2025/2/26

平川 紅仁子



「健康ひようご21県民運動推進委員会に参加して」

淡路県民局洲本総合庁舎にて 2025/3/7

北平としみ

心臓リハビリってどんなこと？

講師；兵庫県立淡路医療センター

理学療法士 山田裕次郎先生

心臓リハは何をする？運動不足を解消し適度な運動を自身で継続すること、運動には呼吸機能や血液循環を良くする「有酸素運動」筋力をつける運動がおすすめ・スクワット・つま先立ち・片足立ちなど→筋力アップ・基礎代謝アップ・バランス感覚・転倒防止・呼吸は自然にするのが大切です。

「SI枚方-中央 認証40周年記念祝典に

参加して」 2025/4/30

森 敦子

ホテルニューオータニ大阪にて行われた祝典に、谷村会長、平川会員、森の3名で出席した。昨今は簡素化されている周年記念式典が多い中、今回は、会員数15名であるにもかかわらず、きっちりと従来通りの素晴らしい祝典であった。

勝会長の挨拶で始まり、見事なまでに1時間で式典を終えられた。事業報告は、特別委員会石原委員長が口頭で行い、映像は祝宴で流された。一番大きな寄付は枚方市ヘピアノ、あとは従来から繋がりのある関西盲導犬協会、関西外国語大学国際親善部シグマソサエティ、府立香里丘高校生徒会Sクラブ、ソロブチミスト関係であっ

テルオークラ神戸にて開催されました。

今回のチャリティバザー・コンサートの収益金は六甲山もりづくり基金をはじめ、地域社会の奉仕活動支援としてご寄付されました。

バザー出店企業40店舗、洋服、宝石、彫刻工房、食品販売他多彩なブースが並び華やかでした。午後からは、元宝塚歌劇団お二人によるジャズダンス、シャンソンメロディ、ポップス20曲、そして楽しいトークで素敵な時を過ごさせていただきました。

谷村会長、森会長エレクト、三原副会長、平川の4名の参加でした。

お口を鍛え、呼吸を整える 吹き戻しチャレンジ！

ぷーと吹いて 5秒ほどキープ！

特に、唇の周りの筋肉も鍛えられます。しっかりした複式呼吸ができるようになり呼吸が安定して、唇機能も向上すれば嚥下もスムーズになり「誤嚥予防ができる」

「誤嚥性肺炎」は高齢化の進む淡路島で多く見られる病気の1つです

お口の筋肉や肺活量を鍛え、病気に負けない体力づくりを！

“手術は命を救うもの リハビリは人生を救うもの”

山田先生の最後の言葉でした

た。祝宴は88歳の船見理事の挨拶、対馬元ガバナーの祝辞、岡野前ガバナーの乾杯、会食、堀江兄弟の演奏と続き、中島副会長の挨拶で締め括った。落ち着いたとても素晴らしい祝典でした。



「虹のかたつむりの集い」に参加して」2025/5/22

小川 はるみ

神戸ベイシェラトンホテル＆タワーズに於いて 35 周



年チャリティーコンサートとして開催されました SI 六甲の第 27 回「虹のかたつむりの集い」に北平会員、小川の 2 名で参加しました。

今回の参加者は 200 名弱でした。「虹のかたつむりの集い」は阪神・淡路大震災の翌年より「命・愛・きずな」をテーマに希望に満ちた明るい未来が拓けるよう、姉妹クラブと地域の方々の協力を得て毎年開催されています。今年は NPO 法人女性と子ども支援センター「ウィメンズネット・こうべ」など 6ヶ所へ支援金の贈呈が行われ代表で受け取られた「ウィメンズネット・こうべ」の正井様より「息の長い支援に感謝申し上げます」とご挨拶がありました。その後お食事をいただきソプラノ歌手松岡万希さんの素敵な歌声を聴きながらいつの日か世の中の全ての女性や女児が、音楽を楽しめる平和な日がくればいいのにと思わずにはいられませんでした。

「SI 神戸チャリティディナーコンサートに
参加して」2025/6/1

正司 昌代

楽しみにいていた 6 月 1 日の日曜日。SI 淡路からは会長はじめ 7 名の参加でした。

神戸ポートピアホテル大輪田の宴会場には 500 名を超える人たちで賑わい 会場に入ると同時に私たちの親クラブである SI 神戸の偉大さと重みを感じました。ピーターさんの歌声は依然変わらず素晴らしい、トークの面白さにも笑いが絶えません。言うまでもなくホテルの食事にも満足。久々に楽しい時間をすごしました。帰りの車の中で皆 余韻に浸りながら一層の親睦を深め 来期 40 周年を迎える私たちのクラブのことを嬉しく思った日となりました。



「指名委員会」

委員長 泉 栄子

今年度 4 月に立ち上げた「指名委員会」は、片山紀子会員、平岡恵子会員、泉栄子の 3 名で活動させて頂きました。



クラブ細則に基づき、次期理事会メンバー候補者を指名、候補者の同意を得たのち、5 月通常例会で候補者を発表いたしました。

ご多用でお忙しいのが当たり前の日常にも関わらず、どなたにもご快諾頂き、新理事会メンバー・デレゲートを選出、7 月例会では、2025 年度理事会メンバー就任式及びデレゲート任命式を、無事に執り行うことが出来ました。これも会員皆様のご理解とご協力の賜物と感謝いたします。

新会長（森敦子会員）のもと、2025 年度も楽しく活気あるクラブ運営が展開されますように!!

指名委員会からもお願ひいたします。

「会長エレクトの任を終えて」

森 敦子

久しぶりに理事会に入らせていただくこととなつたが、次に控える40周年のことを考えるとおちおちしておれない状況でした。来年度には2度目の会長をお引き受けすることとなるのですが、以前のことは忘れていることの方が多く、谷村会長がどんどんスムーズに進めていくのについていくのがやっとという状態で1年を終えてしまいました。相変わらずお尻に火がつかなければ動けず、ユース・フォーラムも皆さまのご協力のお陰で何とか終え、事業報告も書類をひっくり返しやっつけ仕事で何とか切り抜け、最低限のお役を終えることができました。これもひとえに皆様のご協力のお陰と感謝申し上げます。ありがとうございました。



「副会長の任を終えて」

三原 潤子

2024年度、副会長を受け、すぐに会合企画委員長として全体会議、次に第1回理事会メンバー・委員会委員長合同会議を開催し、年間クラブカレンダー(案)の作成から活動をスタートいたしました。

続いて、チャリティ事業委員長として第17回チャリティゴルフの開催準備し、皆様のご支援のもと、個人・団体から心温まるご寄付を賜ることができました。

会長を補佐する立場でしたが、谷村会長の力強くも温かなリーダーシップ、森会長エレクトの的確なアドバイス、そして理事の皆様一人ひとりの誠実なお人柄が、理事会全体の雰囲気をより良いものにし、落ち込むことが少なく、前向きで充実した一年となりました。

この一年を通じ、多くの学びと喜びを得られたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

「セクレタリーになって」

楠 日出子

今期、二回目の理事に就任いたしました。前回はAトレジャラーで、今回はセクレタリーを拝命いたしました。お話を頂いた時は、議事録を作成するだけだから簡単だとの事だったので、不安ながらもお引き受けしました。しかし理事、初顔合わせの食事会の夜から体調を崩し入院する事になってしまい、理事の方々には大変ご迷惑をお掛けしてしまいました。



3ヶ月の入院を終えて、退院したものの年内の外出は無理で、完治には1年ほどかかると言われていました。でも無理を承知でおぼつかない足元で、やっと年明けの理事会に顔を出すことができました。ご迷惑をお掛けしてしまったと、申し訳ない思いで参加しましたが、皆さんに温かく迎えて頂きとても嬉しかったです。

「C.セクレタリーの任を終えて」

正司 昌代

クラブ一般の通信業務を担当するのが私の役目でした。特に私の中で重きに感じていたことは例会に必要な資料を会員宛にメール送信することでした。会員にはすべて印刷して例会に持参していただくという今期初めての試みで 例会前の準備においては手間がずいぶん省けました。谷村会長から例会の資料をメールでいただき 私はその添付書類を会員宛に転送するだけでしたのでアナログ世代の私には大変ありがとうございました。転送し易いように多くの資料を完璧に準備された 谷村会長はとても大変だったことと思います。助けていただきながら重荷にならずに楽しく終えられたことに深く感謝しています。



「トレジャラーの任を終えて」

清木なぎ子

思い起こせば1年前、数字に弱い私が、なんとか自分を鼓舞し、奮い立たせ、このお役に立ち向かう決心をした事を思い出しました。案の定、早速大きな壁にぶつかりましたが北平財務委員長をはじめ、委員会の皆様に助けて頂きながらあと少しで任を終えます。

トレジャラーを経験すると、この会の流れが解るよと教えて下さいましたが、なかなかそうもいかず自分の不甲斐なさや世間知らずを痛感致しました。

今頃になって、ようやく流れが見えてきたとは、恥ずかしくて口には出せません。この1年はとても貴重な経験をさせて頂きました。

ありがとうございました。



「A.トレジャラーとして」

横井 加織

今期2024年度9月1日、清木なぎ子トレジャラーと共にクラブの経理を担当し、元帳作成・管理を担当しました。

特に気付けたのは、時系列に沿って、項目毎に日時・金額を記入することです。正確に記入し、数字が合うことを確認しながら作業を行いました。いよいよ年度末を迎えるにあたり、1年間の元帳作成、更には収支報告書作成にむけて作業を進めなくてはいけませんが、清木なぎ子トレジャラーと手を携えて正確な2024年度元帳並びに2024年度収支報告書が作成できますようお役を務めて参りたいと思っております。



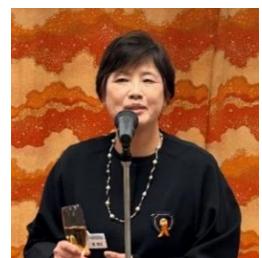
「理事（一年を終えて）」

泉 栄子

理事の任務は、『①理事会の一員として、会長あるいは理事会の委嘱する任務を行う。②クラブの円滑な運営とその発展、成長をもたらす諸活動を計画する重要な役割を担う。』とあります。特に②については、この一年間、十分にそのお役目を果たすことができたのか？もっと具

体的に動ける場面はなかったのか？と反省しきりでございます。

理事会メンバーはじめ、会員の皆様のご理解のおかげで、楽しく活発に意見交換のできた理事会でした。一年間、本当にありがとうございました。



「ゴルフ同好会」

武田 須也子

昨年秋の同好会のコンペでは、最高齢者ということで、始球式の指名を受け、頑張りました。

あれから 1 年、年毎に体力も落ち、当然プレーは無理ですが、あの爽やかな風に吹かれ、木々の香りを感じながら、カートでの程よい居眠りに誘われる心地よさは、コンペなしでは味わえないのです。

極暑の夏が過ぎ、凌ぎやすくなったら今年もコンペをお願いできるでしょうか？

その時は昨年同様、カートに揺られて舟を漕ぎながら楽しませていただきたいと、首を長くして待っています。

88 歳 夏



「俳句同好会」

岡田 恭子

俳句同好会に入会させて頂き随分時間が経ちました。長く体調不良などの事情で活動がほぼゼロという状況でした。そんな中でも会をやめなかったのは、会員の何気ない励ましや心遣いをとても有難く思っていたからです。いつかこの思いに応えることが出来ればと思っています。

俳句同好会では今年度は大きなイベント、句碑の径の完成・貫通がありました。あわじ島句会と淡路若葉会の会員有志が自らの句を石碑に表し、それらを三熊山の駐車場から展望台までの遊歩道に配し句碑の径と名付けられました。



春は沿道に満開の桜が咲き、また四季折々の変化を見せながら展望台へと誘われると紀淡海峡が広がります。素晴らしい眺めと共に未来へ向けての長い時間を石碑に込めることが出来感慨深く思っています。

「句碑の径」

花八つ手昭和を駆けし父と母
句碑囲む幸せありて初音きく
子どもしか知らぬ近道昼の月
幼子の一歩一歩に春の風
鳥帰り行く夕映えの海の色
冬の道夜ごと来る娘に夫重ね
紀伊の嶺を引き離したる大初日
辞する日のみないとほしく花の雨
由良の門の寂と暮れゆく晚夏光
初音聞きひととせ過ぐる句碑を訪ふ
行く雲をとどめて花の城址かな
海光に春待つ色のありにけり
由良の門に漁火いくつ神迎

木下 横井 泉 泉 岡田 紅仁子 春風 加織圭子
森 敦子 小谷恵美子 岡田 恭子 岡田 恭子
片山 紀子 江川 淳子 三根 隆子 香南 隆子
大継 紀子 山岡 仁美子 江川 淳子 三根 隆子
(設置順)

「2024 年度役員名簿」



会長	谷村 雅美
会長エレクト	森 敦子
副会長	三原 潤子
セクレタリー	楠 日出子
トレジャラー	清木 なぎ子
理事	泉 栄子
デレゲート	三根 香南（1年） 大継 淳子（2年）
正司 昌代（コレスポンディング）	
横井 加織（アシスタント）	
江川 隆子	

1年間お疲れ様でした

「2025 年度役員名簿」

会長	森 敦子
会長エレクト	小川はるみ
副会長	正本日登美
セクレタリー	正司 昌代
トレジャラー	樺本 揚子
理事	谷村 雅美
デレゲート	大継 淳子（1年） 北平としみ（2年）
平川紅仁子（コレスポンディング）	
岡田 恭子（アシスタント）	
三根 香南	

よろしくお願い致します



「編集後記」

広報委員会 委員長 三根 香南

広報委員長をお引き受けするのに躊躇はありませんでした。好きな分野だからです。でもスタートから躊躇しました。例会時や諸々の行事の記録写真を撮る、それが主たる役目だと思わず、頭から報道関係との接触とか、リジョンの広報委員会との連携を第一にと思い描いていました。そんなドジな委員長です。写真はシャッターチャンスを逃すとそのシーンは2度と再現されないことがあります、見かねた若手の泉委員が助け舟を出してくれました。

喜劇ながらですが、谷村会長始めベテラン委員の木下圭子・山岡両委員とのコンビネーション良く、1年間の活動を網羅した写真がストックされ、最終ゴールのほほえみ33号発刊にたどり着くことが出来ました。どうぞその成果をご覧ください。

最後に本誌編集の労をとってくださった森会長エレクトに感謝いたします。

そして、来期はいよいよS I 淡路認証40周年の大きな節目の年を迎えます。

会員26名が一丸となって最良の奉仕と会員相互の友情を深め合い、周年の記念誌が盛大に発刊されることを祈念いたしまして、次期広報委員長にバトンをお渡しいたします。



<http://si-awaji.org>